

HPVワクチン
キャッチアップ接種
受けよう!!

そもそもヒトパピローマウイルスって？

ヒトパピローマウイルス（HPV）は、性的接触のある女性であれば50%以上が生涯で一度は感染するとされている一般的なウイルスです。子宮頸がんをはじめ、肛門がん、腔がんなどのがんや、尖圭コンジローマ等、多くの病気の発生に関わっています。

特に、近年若い女性の子宮頸がん罹患が増えています。

HPVワクチンとは①

HPVの中には子宮頸がんをおこしやすい種類（型）のものがあり、HPVワクチンは、このうち一部の感染を防ぐことができます。

現在、日本国内で使用できるワクチンは、防ぐことができるHPVの種類によって、2価ワクチン（サーバリックス）、4価ワクチン（ガーダシル）、9価ワクチン（シルガード9）の3種類あります。

HPVワクチンとは②

2価ワクチン（サーバリックス）、4価ワクチン（ガーダシル）は、子宮頸がんをおこしやすい種類です。

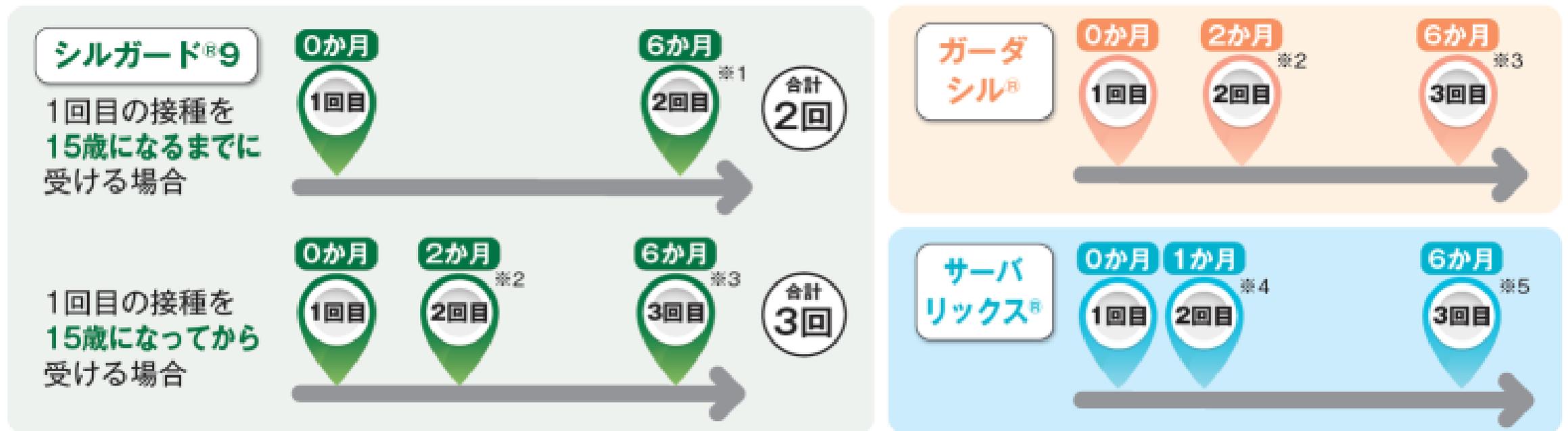
HPV16型、18型の感染を防ぐことができます。そのことにより、**子宮頸がんの原因の50～70%を防ぎます。**

HPVワクチンとは③

9価ワクチン（シルガード9）はHPV16型、18型に加え、31型、33型、45型、52型、58型の感染も防ぐため子宮頸がんの原因の80～90%を防ぎます。

HPVワクチンはどうやって受けるの？

一定の間隔をあけて、同じワクチンを合計2回または3回接種します。標準的なワクチン接種スケジュールを示します。



HPVキャッチアップ接種って？

平成25(2013)年から令和3(2021)年の、HPVワクチンの接種を個別に勧める取組が差し控えられていた間に、定期接種の対象であった方々には、HPVワクチン接種の公費での接種機会を逃した方がいます。

こうした方に、公平な接種機会を確保するために、キャッチアップ接種の機会が設けられました。

HPVキャッチアップ接種の対象は？

①平成9年度生まれ～平成18年度生まれ（誕生日が1997年4月2日～2007年4月1日）の女性

②過去にHPVワクチンの接種を合計3回受けていない

上記2つを満たす方がキャッチアップ接種の対象となります。

HPVキャッチアップ接種できる時期は？

令和4(2022)年4月～

令和7(2025)年3月の3年間

HPVワクチンを公費で接種できます

HPVキャッチアップ接種を受けるには？

具体的な接種方法は、住民票のある市町村からお知らせが届いていると思いますので、そちらをご覧ください。

また接種歴がある方は、接種したワクチンの種類や時期により、接種方法が異なる場合がありますので、母子健康手帳を確認して相談ください。

詳細については、住所地の市町村予防接種担当課にお問い合わせください。

まとめ

子宮頸がんの予防にはHPVワクチンがあります。

平成**9**年度生まれ～平成**18**年度生まれ（誕生日が**1997**
年**4**月**2**日～**2007**年**4**月**1**日）の女性の方はキャッチ
アップ接種の対象ですので、市町村からのお知らせを
持って医療機関へ行きましょう！